



ローソンとの連携強化

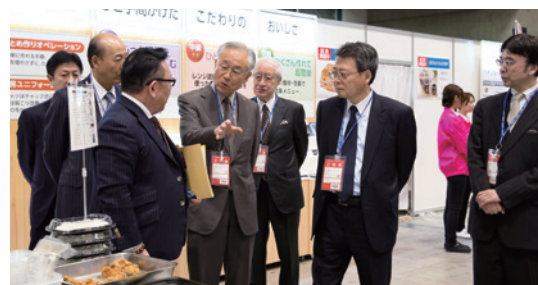
生活産業グループ

2017年2月、三菱商事はローソンへのTOB（株式公開買付）を完了し、株式の保有割合を33.47%から50.11%まで引き上げて、連結子会社化しました。

2000年にローソンと業務提携契約を締結して以来、さまざまな分野での協業を通じてシナジー効果を追求してきました。消費者起点での事業推進が三菱商事の成長に不可欠となる中で、リテール事業は消費者の皆様と直接触れ合うことができる最も大事な接点です。このような認識の下、両社間の連携をさらに強化することで三菱商事・ローソン双方の企業価値向上を目指します。

今後は、全国約1万3,000店舗の消費者接点を持つローソンとの連携深化により消費者の皆様

に喜ばれる商品力、サービス力を強化するとともに、三菱商事が持つ国内外のあらゆるリソースを提供し、ローソンの成長戦略実現に貢献していきます。



三菱商事の社外役員が「ローソンセミナー」[※]を視察し、ローソン経営陣との対話を実施した。

[※]ローソンが毎年開催し、全社の方針をオーナーと共有するためのイベント

ベルギー最大規模の洋上風力発電事業に参画

地球環境・インフラ事業グループ

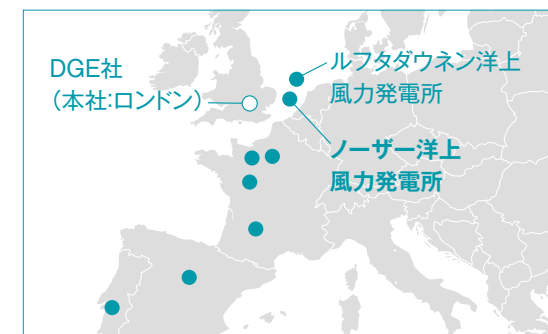
2016年12月、ベルギー最大規模のノーザー洋上風力発電事業への参画を決定しました。今後、英国にある三菱商事100%子会社Diamond Generating Europe (DGE) 社とオランダ公営の総合エネルギー事業会社Eneco社、ベルギーのエネルギー・通信会社Nethys社が共同で建設し、2019年夏頃の運転開始を目指します。

ノーザー洋上風力発電所は、ベルギー沖合約23kmに建設します。総事業費は1,500億円、総発電容量は同国最大の約37万kWで、同国の約

40万世帯分の電力を賄う規模となります。

本事業への参画は、2012年にEneco社との間で締結した欧州の洋上風力発電事業分野での長期的な戦略提携に基づいたものであり、オランダ・ルフタダウネン洋上風力発電所（総発電容量約13万kW、今号の表紙）に次ぐ、第2号案件となります。

三菱商事は低炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーへの取り組みを強化しています。本事業はその一環であり、今後も欧州を中心に洋上風力発電事業に取り組んでいく計画です。



● DGE社の開発案件

Diamond Generating Europe社

2012年に欧州・中東周辺地域における発電事業の迅速な推進を目指し、保有する再生可能エネルギーを中心とする発電資産を集約し設置された欧州・中東発電事業の統括会社。フランス・ポルトガル・スペインでの太陽光発電事業／オランダでの洋上風力発電事業／フランスでの陸上風力発電事業／ヨルダン・カタールでの火力発電事業、などの持分を保有しています。



ノーザー洋上風力発電所に建設されるタービンのイメージ



LNG燃料供給船「ENGIE ZEEBRUGGE」

LNG燃料の普及拡大へ、 世界初のLNG燃料供給船が竣工

エネルギー事業グループ

2017年2月、三菱商事がENGIE（フランス）、FLUXYS（ベルギー）、日本郵船と共同で設立した液化天然ガス（LNG）燃料供給船保有会社が建造発注していた、世界初のLNG燃料供給船「ENGIE ZEEBRUGGE」（以下、本船）が、韓国・釜山の造船所で竣工しました。今後、ベルギーのジーブルーージュLNG基地を拠点として、自動車専用船をはじめ北欧海域を航行する船舶へのLNG供給を開始します。

国際的な船舶の排出ガス規制強化を背景に、環境への負荷が低いLNGは重油の有力な代替燃料と位置付けられています。船舶燃料としてのLNGの潜在的な需要は高いものの、普及には供給インフラ整備が大きな課題となっていました。

今回、本船の就航で船舶が希望する地点でのLNG燃料供給が可能となるため、LNG燃料の普及拡大への契機となると期待されます。

今後もパートナーとともに、Ship-to-Ship方式のLNG供給・販売サービスの世界展開を通じて、船舶燃料分野のイノベーションをけん引し、海運産業での環境対策に貢献していきます。

「ENGIE ZEEBRUGGE」概要

- 全長：107.60m
- 型幅：18.40m
- 型深さ：9.00m
- 総トン数：7,403トン
- LNGタンク容量：5,100m³
- 船籍：ベルギー

フィリピンで分譲住宅開発事業に参画

新産業金融事業グループ



分譲住宅のイメージ

2016年11月、フィリピンの不動産デベロッパー大手Century Properties社と共同で、同国の分譲住宅開発事業に参画しました。首都マニラ中心部の南に位置するカピテ州タンザに26haの敷地を取得し、約2,800戸の住宅を集積させたコミュニティを開発する計画です。

フィリピン政府はマニラ首都圏の人口急増、人口流入を背景として、都心部の住環境整備を喫緊の課題と捉えており、本プロジェクトはその課題の解決に寄与するものと考えています。今後も不動産開発案件への関与を通じて、同地域における都市整備、住宅環境整備に貢献していきます。

タイで移動式クレーンレンタル事業を本格始動

機械グループ

2016年11月、三菱商事の100%子会社であるレンタルのニッケン（ニッケン）とともに、タイのクレーンレンタル最大手のT.S.K. Crane Service（TSK社）と合併で新会社を設立し、移動式クレーンのレンタル事業を本格的に始動しました。保有クレーン台数はタイ国内では最大規模の約300台となります。

TSK社の強固な国内事業基盤に加え、三菱商事が持つアセアン域内での幅広いネットワークと各種プラント建設プロジェクトで培った知見を活用し、経済発展を背景に建設需要の高まる同地域での事業拡大を目指します。将来的にはニッケンの支援を受け、クレーン以外の建設機械のレンタルサービスも開始する予定です。



移動式クレーン